

# 地震に伴うナマズの異常行動の研究

小林良雄・小山忠幸

Studies on the Relation between Earthquakes and Abnormal Behavior of Catfish, *Silurus (Parasilurus) asotus* LINNAEUS

Yoshio KOBAYASHI and Tadayuki KOYAMA

本県における防災対策の一環として、ナマズによる地震予知の可能性を検討するため、昭和54年度から引き続きナマズの全行動の記録と観察を実施し、その中から地震と関連性が認められる異常行動を抽出し解析を行った。

今回は前報（小林・小山 1983）に対して新たなる結果は得られなかったので、概要にとどめ報告する。

## 魚群探知機による異常行動の観測

前報<sup>1)</sup>と同じく屋外コンクリート池に魚探を水平方向に設置し、ナマズの異常行動を群としてとらえるため観測を行ったが、本年度も地震と関連した異常行動とみなされる記録は得られなかった。

## 光電管による異常行動の観測

前報に引き続き、ガラス水槽に6対の光電管を配置し、ナマズを1尾収容して異常行動を記録したところ、第1表（昭和54年4月から昭和59年3月までの観測値）の結果を得た。

第1表 ナマズの異常行動の有無別  
にみた有感地震の発生回数

地震の規模 異常行動の有無	震 度				
	1	2	3	4	計
異常行動を伴った地震	6	3	6	3	18
異常行動を伴わない地震	54	21	11	2	88
合 計	52	24	17	5	106

このうち異常行動を伴った震度3以上の地震は、震源距離が当場から100km未満で発生しており、前報と同じ結果となっている。

以上のように、ナマズの異常行動を伴った震度3以上震源距離100km未満の地震は、5年間で9例発生しているが、更に記録の集積をもって異常行動との関連性を解明したい。

## 文 献

- 1) 小林良雄・小山忠幸(1983)：地震に伴うナマズの異常行動の研究、神奈川県淡水魚増殖試験場報告、19, 45-55。
- 2) 気象庁(1979～1984)：地震月報。